



教育委員会だより

直方の教育

お問い合わせ▽学校教育課 TEL 25-23323

全国学力・学習状況調査結果から

学校教育課

本年4月19日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。この公表に基づき、本市の児童生徒の状況を報告します。

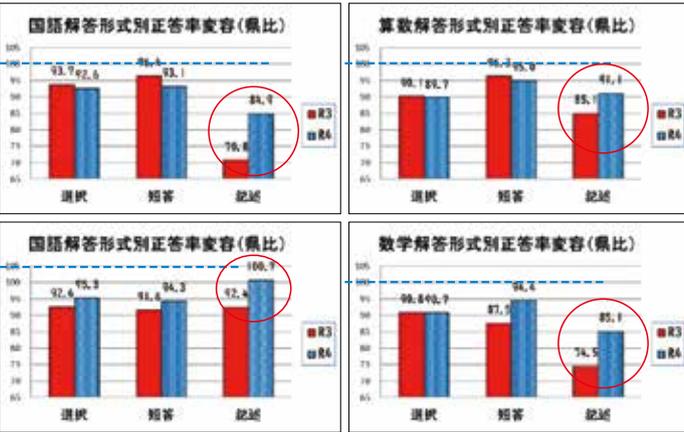
1 調査結果概要

右下のグラフでは、小学校6年生(上)、及び中学校3年生(下)が、この2年間でどのように変容しているかを示しています。

小学校の国語を除き、小学校算数、中学校国語、数学においてこの2年間で県平均に近づいていることがわかります。

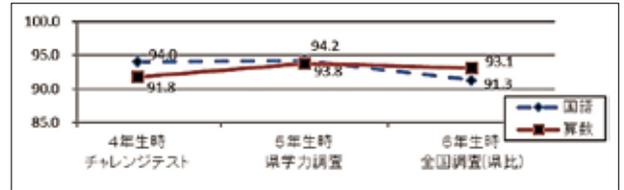
左下のグラフをご覧ください。解答形式別の変容を示しています。昨年度は、自分の考えを文章に書いて説明することに課題が大きかったのですが、この1年間で記述する力を大きく伸ばすことができました。この記述する力は、単に知識を詰め込むだけでは伸びません。「主体的・対話的で深い学び」の中で培われた、思考・判断・表現する力を総合的に発揮する、まさに「生きて働く力」です。

解答形式別標準化得点の同一集団の変容 (上) 小学6年(下) 中学3年

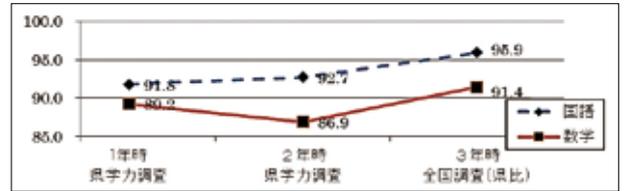


学校種ごと及び教科ごとの解答形式別の2年間の変容
県の平均得点率を100とした時の、本市の平均得点率

現6年生の2年間の変容(小学校)



現3年生の2年間の変容(中学校)



本市小学6年生(上)と、中学3年生(下)の2年間の変容
県の平均得点率を100とした時の、本市の平均得点率

2 結果の要因

数値的には、県平均には及びませんでした。子どもたちの変容に視点を当てると、確かな向上が見られました。その要因を「直方市学力向上重点取組3つの柱」に沿って三点挙げます。

重点取組① 授業改善

授業の進め方を示した「のおがた授業モデル」を活用して、従来のいわゆる講義型授業、知識詰め込み型授業から、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業への転換を図っています。その成果の一端が、上記「記述」の向上に見られました。

重点取組② 集聚力向上

直方市では、令和3年度から全小学校において徹底反復学習を実施して、集聚力の向上を目指しています。また、小中学校共に、補充的な学習を充実するように取り組んでいます。

重点取組③ 家庭学習の習慣化と内容の充実

各小中学校の家庭学習状況を定期的、継続的に確認しています。「自分で計画を立てて行っている」割合は、これまでの全国学力・学習状況調査の中で、一番良い結果となりました。更に中学校では、学習時間についても向上が見られ、学力調査結果の向上の大きな要因と考えられます。一方、小学校では、家庭学習時間の低下が見られ、改善の必要性を感じています。

そのためには、ご家庭には、お子様の学習の様子の見届けや励ましをお願いするとともに、学校の取組に対して、一層のご理解、ご協力をお願いします。

「徹底反復学習」で集中力UP
学校教育課

令和4年9月2日に、市内小学校全教職員を対象に、「直方市徹底反復学習研修会」を開催しました。

徹底反復学習とは、「百ます計算」、「漢字練習」、「音読」等を徹底して繰り返し行うものです。短時間でテンポよく集中して行う中で、脳の活性化と集中力の向上を図り、学力向上の基盤づくりを目指しています。

研修会では、まず経験豊富な講師の先生方から上頓野小学校の児童を対象に示範指導を行っていただきました。参加した児童は、人前で緊張しながらも、時間いっぱい集中して取り組む姿を見せてくれました。

その後、指導のポイントについて実践事例を交えながら分かりやすい講話を行っていただきました。

これらの様子は、全小学校へも同時にオンラインでつなぎ、全教職員で研修を行いました。



徹底反復学習に取り組む児童の様子



演習に取り組む教師の様子



講師による講話の様子

研修会に参加した児童からは「いろいろな活動に集中して取り組むことができてよかった。これからは、がんばりたい。」受講した教職員からは、「時間を有効に使うことで、子どもの集中力を最大限引き出せることが分かった。」「具体的な指導方法のポイントが分かった。すぐに取り入れていきたい。」「理論に基づいた実践であることが分かった。集中力や自尊感情を高めていきたい。」等の感想が聞かれました。

今後も市内全体で、取組状況を把握し改善を図りながら一層充実した学習になるように取組を進めてまいります。

直方市立中学校標準服
性別を問わない新制服の選択
導入について
学校教育課

来年度から、直方市内全4中学校の全学年で、ブレザータイプの新標準服を導入します。

動きやすさや、防寒・暑さ対策等の機能を高め、性の多様性に対応することができるよう、性別を問わず、スラックスかスカートを選択できるブレザータイプの新しい制服を導入することにしました。

ただし、現在使用している制服（学生服・セーラー服）も併用できるものとなります。

新制服の選択導入に関しては、令和元年に、4中学校の校長とPTA会長による標準服検討委員会を設置し、令和二年に生徒や保護者へアンケートを実施し新標準服への賛同を得ました。その後専門業者が三種類のサンプルを試作し、今年二月に中学校生徒会にアンケートを行い市内独自のオリジナルデザインを決定しました。

新しいブレザータイプの標準服の販売は、十二月から開始する予定です。

【新制服の特徴】

市内4中学校同一のデザインで、ジャケットの下に着用する白の長袖のポロシャツの胸にある2本のラインの色を、中学校別に色分けしています。一中(赤)、二中(黄色)、三中(水色)、植木中(緑)にしていて、二中のみ、3本の黄色のラインとしています。

紺色のブレザーの前ボタンは、フック式の留め金具となっております。「右前」「左前」双方に対応できます。

